

「全国壮年会連合 定期総会(文書による)」2024.8.23

代議員登録数：(188)、投票総数：(138)、うち無効票数：(0)

議案番号	議案	票数				結果
		賛成	反対	保留	無回答	
議案 1.	2024 年度総会議長選任の件	137	0	1	0	承認
議案 2.	2024・2025 年度全国壮年会連合役員・奨学金委員追加承認の件	137	0	1	0	承認
議案 3.	2023 年度全国壮年会連合諸活動報告、決算、監査報告に関する件					
3-1	2023 年度全国壮年会連合活動報告					
3-2	2023 年度全国壮年会連合一般会計決算報告					
3-3	2023 年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告	137	0	0	1	承認
3-4	2023 年度日本バプテスト連盟神学生奨学金会計収支報告					
	2023 年度日本バプテスト連盟神学生奨学金会計決算報告					
3-5	2023 年度監査報告					
議案 4.	全国壮年会連合規約細則第 3 条等の改定案の件	133	2	3	0	承認
議案 5.	2025 年度 神学校献金目標額設定案の件	131	2	5	0	承認
議案 6.	神学校献金の用途拡大に関する「日本バプテスト連盟」と「全国壮年会連合」の覚書に関する件	129	4	4	1	承認
議案 7.	2024-2025 年度 全国壮年会連合活動計画(案)の件	134	2	2	0	承認
議案 8.	2024 年度 全国壮年会連合一般会計修正予算(案)及び 2025 年度 全国壮年会連合一般会計予算(案)の件	135	1	2	0	承認
議案 9.	2024・2025 年度 全国壮年会連合奨学金委員会活動計画(案)の件	136	1	1	0	承認
議案 10.	2024 年度 全国壮年会連合奨学金会計修正予算(案)及び 2025 年度 全国壮年会連合奨学金会計予算(案)の件	136	1	1	0	承認
議案 11.	2026 年度(第 61 回)全国壮年大会担当地方連合の件	138	0	0	0	承認
議案 12.	2025 年度総会議長の件	138	0	0	0	承認

<2024 年度 全国壮年大会報告 感謝> 副会長・事務局長 稲川 仁 (宝塚教会)
 2024 年 8 月 24 日(土) 第 59 回 全国壮年大会 西九州(長崎教会発信の ZOOM オンライン)が開催されました。皆様ご参加いただき、誠にありがとうございました。今回の大会は、信徒の皆様によるメッセージや、西九州地区における教会間の密接な協力伝道が紹介され、大変意義深いものとなりました。
 特に、対面を無くし、オンラインのみで開催するという既成概念にとらわれない工夫が光り、実行委員の方々の情熱あふれる連携、主体性、そして充実感が感じられる素晴らしい大会となりました。実行委員、関係者の方々の熱心なお働きに心より感謝申し上げます。
 なお、本大会の内容は全国壮年会連合のホームページ(<https://sonen.net>)で YouTube を通じて視聴可能です。ぜひご視聴いただければ幸いです。今後とも共に励まし合い、教会と共に成長して参りましょう。

全国壮年会連合 会長：高良 研一(恵泉)、副会長・事務局長：稲川 仁(宝塚)
 書記：木村 均(大井)、会計：高井 透(高崎)
 監査：岸 秀幸(福岡西部)、大城 戸一彦(所沢)
 同奨学金委員会 委員長：北村 慎二(宝塚)、総務：浦瀬 佑司(札幌)、会計：田口 清吾(甲府)
 返還：鶴澤 寛(尾崎)、渉外：古田 晴彦(宝塚)
 連盟担当理事：武林 真希子(飯能)、神学部長：才藤 千津子(平尾)
 事務局 飯野 貴(福岡)
 神学校献金・会費 振替 00150-7-66605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局



伝道者養成と教会形成を担う
 日本バプテスト連盟
 全国壮年会連合 NEWS

〒336-0017 さいたま市南区南浦和 1-2-4
 事務局 (原則) 月・水・金 10:00-16:00
 電話・FAX 048-886-7533
 Email: sonen@bapren.jp
 H P : <http://www.sonen.net>

第 133 号
 2024/11/8 発行
 発行人：高良 研一
 編集人：稲川 仁

全国壮年会連合と壮年たちに期待すること

九州バプテスト神学校宣教センター長
 松見 俊

「全国壮年会連合ニュース」に寄稿できることを感謝します。三つの期待を述べます。
 第一は、福音宣教の担い手、「後継者養成」への壮年たちの積極的参加です。福音宣教の担い手の養成は、諸教会、地方連合、日本バプテスト連盟への期待だけではなく、全国壮年会連合への期待です。神はイエス・キリストという歴史的出来事において語られたとすれば、このお方を証言することは最重の課題です。福音宣教はキリスト者と教会でなければならぬものです。その意味で、全国壮年会連合が東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の支援に一步踏み出してくださることに感謝です。
 第二は、教会形成への参加です。私は、キリスト者「個々人」(主体的個)と主イエスによってその実現が始まっている「神の国」(シャローム)の実現とそれらを繋ぐ「教会」形成の重要性を思い、壮年会連合に集う人たちが良き「教会人」であれと祈ります。私は 18 歳の時に日本バプテスト連盟仙川キリスト教会でバプテスマを受け、19 歳でいわゆる「献身者」として立たされ、現在 77 歳になるまで、日本社会が真に民主的になるためには、主体的個の契約共同体であるバプテスト教会が確立されねばならないという確信のもとに歩んできました。「教会形成」、これが、老年となった今でも、私の一貫した目標です。
 第三に、キリスト者の「社会的責任」です。主イエスは、「諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病氣、わずらいをおいやしになった」(マタイ 4:23)のです。主はこの働きをご自分だけでなく、彼に信託する弟子たちにも委託されました。「主告白」と癒し・悪霊追放の働きは、権威、権力、富みに縛られた人間を解放する働きです。今日、武力に対しては武力の対峙による「報復」、そのために武力の「均衡」という動きが加速しています。宗教のカルト化を自省しつつ、自民族誇示の日本社会の偏狭性(天皇制)との対峙も要求されます。まず神の国と神の義とを求めるときに、力や富への対処の仕方も学べます。壮年たちよ、キリストにあり、教会に根ざした良き社会人であれ!



1947 年東京生まれ。1965 年日本バプテスト連盟仙川キリスト教会で受洗。西南学院大学神学部、スイス・リュブリコン神学院、米国ヴァージニア・ユニオン神学院で神学を学び、瑞穂教会、栗ヶ沢教会で牧会。バプテスト宣教研究所、西南学院大学神学部、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校で神学教育、後継者養成に携わる。現在九州バプテスト神学校宣教センター長、バプテスト福岡教員。

長尾 基詩 (ながお きし) 西南学院大学神学部(府中教会出身)

2024 年 8 月 12-15 日、東アジア平和センターが主催するツアー「第三回アジア青年平和学校 非武装地帯で歌う平和の歌!」に参加しました。韓国の鐵原(チョロン)にあり、国境線平和学校を拠点にしての学びでした。韓国と北朝鮮のほとんど境目にして今なお軍事的緊張感のある地に行き学びを得たことは、現在の世界の至る所で起きている戦争、紛争という事柄を真剣な意味で考えることのできた時間でした。
 国境線平和学校は 38 度線の非常に近くに位置し、そこからは北朝鮮の山々を望み見ることが出来ます。校長はコリアの分断を象徴するまさにその地で、青年に平和について考え、学ぶ機会を持ってほしいと言われました。フィールドツアーにて白馬高地や、地下道など様々なところを見るのはもちろんのこと、このツアーが大切にしていることは今を生きたアジアの人々が交流し、新たな関係を築いていくことです。今回は日本、沖縄、韓国から合わせて約 20 名の参加者が集い、ほとんどは大学生です。グループで別れて話し合う時間が持たれるときにはそれぞれの国の学生から質問や、意見が忌憚なく飛び交いました。韓国から見た北朝鮮のイメージは何か?統一という事柄が若い世代にはどれくらいの実感で迫っているか?など普段なら問にくい領域にも入り込んだ討論がなされました。そこでは私たち日本側が北朝鮮のネガティブなイメージを過度に植え付けられているのではないかと疑問も残り、軍事的機能をこの状況で放棄するとは現実にはまだ言うことができないのではないかという正直な韓国側の意見も聞くことができました。



アジア青年平和学校 2024 集合写真